

大使館情報

2020年10月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（9月の出来事）

【内政】

- (1) 行政改革法案の議会提出
- (2) 連邦最高裁判所長官の交代
- (3) 宗教団体の免税に関する法案の裁可
- (4) 郵便公社職員によるストライキの終了
- (5) 大統領動静

【外交】

- (1) ベネズエラ外交団に対するペルソナ・ノン・グラータ通告
- (2) BRICS 外相テレビ会合
- (3) 伯中外相電話会談
- (4) ポンペオ米国務長官のロライマ州訪問及び伯米外相会談
- (5) 上院によるフォルステル駐米大使の任命承認
- (6) 第75回国連総会におけるボルソナーロ大統領による一般討論演説
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

3. トピックス

- (1) 新型コロナウイルス関連
- (2) ポスト・コロナの学校再開に関する国際的な知見の共有に関するオンライン特別委員会への山田大使の参加
- (3) 山田大使夫妻とエドゥアルド・ボルソナーロ連邦下院議員夫妻との意見交換
- (4) 山田大使とリカルド・バーホス連邦下院議員との意見交換
- (5) 山田大使の ABRAEX 主催技術ウェビナー「伯経済社会開発に向けた日本の宇宙技術の貢献」への参加

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ

(3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（9月発表の経済指標）

(ア) 1日、地理統計院 (IBGE) は2020年第2四半期(4～6月)の実質GDP成長率を前期比▲9.7%、前年同期比▲11.4%と発表した(第1四半期は前期比▲2.5%、前年同期比▲0.3%)。業種別では工業が▲12.7%、サービス業が▲11.2%と生産活動停滞の影響を強く受け、個人消費(▲13.5%)及び輸入(▲14.9%)も下落した。輸出は中国の需要増、レアル下落及び商品価格の上昇により前年同期比+0.5%と上昇した。

(イ) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査(フォーカス調査)によれば、9月28日時点で、GDP成長率予測については、2020年は▲5.04%で前週より0.01%増加、2021年は3.50%で前週から変わらず。インフレ率については、2020年は2.27%で前週2.01%から0.26%増加、2021年は3.00%で前週から変わらず。

(ウ) 7月の鉱工業生産指数(季節調整済み)は前月比+8.0%と3ヶ月連続で上昇した。依然として新型コロナウイルス感染拡大前の水準を下回っているが、自動車・衣料・金属加工の生産増加が伸びを牽引しており、引き続き回復の継続が期待される。

(エ) 7月の小売売上高は、前年同月比+5.5%と新型コロナウイルス感染拡大前の2月の水準を上回った。低所得者向け緊急支援策に伴う消費の下支えに加え、在宅時間の増加に伴う消費傾向の変化から、食料・飲料、電気製品、建材が上昇を牽引した。

(カ) 8月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.24%、前年同月比+2.44%で7月の+2.31%から上昇した。8月はガソリン価格が前月比+3.22%と上昇したことを背景に輸送費が上昇、食料・飲料品価格も前月比+0.78%と上昇した。

(キ) 全国の失業率(5月～7月の移動平均)は13.8%となり、前月の13.3%から0.5%上昇、2012年以来の高水準となった。雇用者数は8,202万人で、過去最低記録を更新した。

(ク) 8月単月の貿易収支は66.09億ドルの黒字で前年同月比+25.09億ドル、輸出額は195.66億ドル(前年同月比▲2.9%)、輸入額は115.06億ドル(同▲35.2%)で、7月に引き続き黒字幅を拡大した。欧米、南米諸国への輸出が前年比減少する一方、中国向け輸出が前年同月比+8.7%と増加。

(2) 経済政策等

(ア) 1日、ボルソナロ大統領はパンデミック対応の緊急援助支給について、支給額を月額300レアルに減額して本年12月まで4ヶ月延長することを発表した。経済省によると同4～8月の緊急援助によって6,700万人が給付を受け、約900億レアルの追加財政支出が生じている。

(イ) 4日、政府は行政改革のための憲法修正案(PEC)を議会に提出した。経済省の発表によると、改正規則は行政の近代化、サービスの質向上及び財政安定を目的とし、全ての分野の公務員に適用され、公務員の5つの異なる採用形態等について規定している。残りの行政改革法案はPECの審議が行われた後に提出される見込み。

(ウ) 8日、伯中銀は、中銀アジェンダ「持続可能性」の柱の立ち上げに関するウェビナーを実施した。経済の構造変化や社会環境リスクの出現に対応して、4つの中銀アジェンダ(包摂、競争力、透明性、教育)に加えて第5の柱「持続可能性」を追加し、金融当局の役割を明確化した。

(エ) 28日、伯政府はボルサ・ファミリアに替わる社会プログラム「レンダ・シダダオン(市民

所得)」を公表した。9月に撤回されたレンダ・ブラジルに替わる所得補償政策として、来年1月に施行、給付が開始される。政府は、財源は必ず見つける、前年度の予算にインフレ率をかけた以上の支出を認めない歳出上限法案を遵守すると公表にあたり強調した。

(オ) 8月の国庫、中銀及び社会保障院 (INSS) で構成される中央政府及び地方政府を合わせた連邦政府の財政プライマリー収支は、875億9,400万レアルの赤字を計上し、2002年以来最悪の赤字額を記録した。同じく本年8月連邦政府のプライマリー収支の累計赤字は5,713億レアルを記録した。

(3) 金融政策

9月16日、金融政策委員会 (Copom) は、政策金利 (Selic) を2.00%に据え置くことを全会一致で決定した。政策金利を維持するのは7会合ぶり、次回会合は10月27日及び28日の予定。

(4) 為替市場

9月の為替レートは、5.23～5.68レアル/ドル台で推移。行政改革法案の議会提出に伴う改革期待や良好な経済指標により一時5.20レアル台までレアル高が進行した。しかし、政策金利 (Selic) が2.00%に据え置かれ、低金利政策が継続する見通しが強まったこと、欧州の新型コロナウイルス感染者の増加により経済回復が遅れるとの見方が拡大した。月末には、来年以降の最低所得補償政策を巡り財政懸念が拡大して5.68レアル/ドルとなった。

(5) 株式市場

9月のブラジルの株式相場 (Ibovespa) は、93,510～102,168ポイントで推移。良好な経済指標に加えて、改革進展への期待から102,000ポイントを回復。しかし、石油・鉄鉱石需要後退懸念の拡大に伴う商品価格の下落や、欧州の新型コロナウイルス感染拡大により景気先行き懸念が拡大、更に、来年以降の所得支援策を巡り財政懸念が拡大して、93,000ポイント台まで下落した。

2. ブラジル政治情勢（9月の出来事）

【内政】

（1）行政改革法案の議会提出

3日、政府は、行政改革に関する憲法修正案（PEC）を連邦議会に提出した。本PECの対象は、新たに採用される三権全ての公務員（連邦、州及び市町村における行政、立法及び司法）であり、現職公務員、軍人、連邦議員、裁判官、判事及び検察官は対象外となった。今次法案は、3段階から成る行政改革のうち第一段階に該当する。

（2）連邦最高裁判所長官の交代

10日、トフォリ連邦最高裁判所（STF）長官の任期満了に伴い、ルイス・フックス STF判事が同長官に就任した。副長官にはローザ・ウェベル STF判事が就任。同日、フックス新長官の就任式がフィジカル方式で開催され、ボルソナーロ大統領、アルコロンブレ上院議長及びマイア下院議長が出席した。

（3）宗教団体の免税に関する法案の裁可

11日、ボルソナーロ大統領は、宗教団体の免税に関する法案に関し、一部拒否権を行使した上で裁可した。

（4）郵便公社職員によるストライキの終了

21日、労働高等裁判所（TST）は、郵便公社職員に対し、同日中にストライキを終了させる旨の決定を下した。組合側は22日夜に総会を開催し、35日前に開始したストライキを終了する旨決定した。

（5）大統領動静

25日、ボルソナーロ大統領は、サンパウロ市内の病院において、膀胱結石を除去するための手術を受けた。同大統領は26日午後に退院し、翌週28日より公務を再開した。

【外交】

（1）ベネズエラ外交団に対するペルソナ・ノン・グラータ通告

4日、伯外務省は、伯国内に駐在するベネズエラ外交団（マドゥーロ大統領派）に対し、同日付でペルソナ・ノン・グラータを通告した旨公表した。

（2）BRICS 外相テレビ会合

4日、アラウジョ外務大臣は、BRICS 外相テレビ会合に出席した。同外相はパンデミックの解決に対するWHOの役割に疑義を呈し、自由や民主主義の価値観の重要性を強調し、米国による中東和平の取組に対する支持を表明した。また、国連安保理改革の必要性にも言及した上で、ベネズエラ問題についてはラ米のテロリズムと関連づけて改めて問題提起した。

（3）伯中外相電話会談

18日午前、アラウージョ外務大臣は、王毅中国外交部長との間で電話会談を行った。同日、同外相は、「二国間関係の良好なパースペクティブを再確認し、二国間及び多国間のテーマにつき協議した。また、農産品貿易及び輸出製品の多様化につき、共通の目的を強化した」と SNS 上に投稿した。

(4) ポンペオ米国務長官のロライマ州訪問及び伯米外相会談

18日、ポンペオ米国務長官がロライマ州ボアヴィスタ市を訪問し、ベネズエラ避難民受入れ作戦を視察した。同日午後、同国務長官は、同視察に同行したアラウージョ外相と会談を行い、その後の記者会見において、同作戦に対する米国による 3000 万米ドルの供与を発表した。

(5) 上院によるフォルステル駐米大使の任命承認

22日、上院本会合において、フォルステル駐米大使の任命が承認された。また、上院は、駐イスラエル大使、駐亜大使及び ICAO 大使を含む 8 名の新大使の任命を承認。本審議は 6 か月のバーチャルセッションの後、ドライブスルー投票も導入したフィジカル方式で行われた。

(6) 第 75 回国連総会におけるボルソナーロ大統領による一般討論演説

22日、ボルソナーロ大統領は、第 75 回国連総会に録画ビデオで出席し、一般討論演説を行った。冒頭、同大統領は新型コロナに関し、「ウイルスと失業は同時に取り扱うべき」と常に訴えてきたことを強調した。また、インダストリー 4.0、AI、ナノテク及び 5G 等の最新技術については、主権を尊重し、自由とデータ保護を重んじるいかなるパートナーとの共同開発にもオープンである旨発言。更に、環境問題に関する偽情報の流布及び環境犯罪を批判し、米トランプ政権による中東和平の取組を称賛。EU メルコスール及びメルコスール EFTA の FTA 合意、OECD 加盟及び WTO 改革へのコミット等の経済面での取組及び、伯軍によるベネズエラ避難民受入れ作戦の実績を紹介した。

(7) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

24日、伯政府は、外国人(国籍不問)の入国を制限する措置につき、一部要件を緩和した上で、同日より 30 日間延長する旨の政令第 456 号を公布した。

3. トピックス

(1) 新型コロナウイルス関連

(ア) 連邦直轄区の条例(9月2日付施行)により、経済活動の部分的再開(公園・宗教施設、及び経済的活動の制限の解除)が認められた。内容は以下のとおり。

【公園及び宗教施設】

- ・公園内の集団活動のエリアの封鎖を解除、トイレ及び飲料器の使用停止を解除。
- ・宗教行事に関して、5月30日付条例第 40,846 号第 1 条 2 項の制限措置に係る条項を削除。

【経済的活動】

- ・映画館及び劇場の再開を許可(同営業に係る取決め及び衛生措置を追加)
- ・スポーツジムにおける、飲水器及びシャワーの使用停止を解除、また、制限付きで集合的なク

ラスの禁止を解除

・レクリエーションクラブのプール営業の再開を許可（同営業に係る取決め及び衛生措置を追加）
（イ）伯政府は、9月24日、ブラジルへの外国人の入国を国籍に関わらず制限する措置を、一部要件を変更しつつ、30日間延長する旨発表した（同日付で施行）。

なお、90日以内の短期滞在のためにブラジルを訪問する外国人旅客は、搭乗前に、航空会社に対し、ブラジル旅行中の全期間をカバーするブラジル国内で有効な保険の加入証明書を提示しなければならない、とする規定（第6条1項）は維持された。

（2）ポスト・コロナの学校再開に関する国際的な知見の共有に関するオンライン特別委員会への山田大使の参加

9月9日、山田大使は、連邦下院議会からの求めに応じ、オンラインによる下院特別委員会（COVID-19収束後の対面授業再開に関する各国の経験）へ参加した。

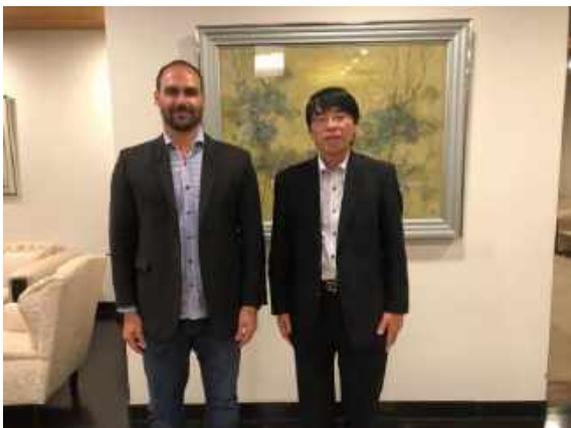
山田大使は、日本の感染状況、日本政府の学校再開及び子供の学びを保障する取組について説明を行い、「子供の学びは、その国の将来がかかっているものと認識しており、子供たちが今の時期に必要な学びを継続することも重要」と述べ、対面授業を再開することの意義を説明した。日本国大使館は、引き続き、日本の新型コロナウイルス感染症の取組について、関係機関と共有しながら、ブラジルの取組に対しできる限りの協力を行っていく。

（3）山田大使夫妻とエドゥアルド・ボルソナーロ連邦下院議員夫妻との意見交換

9月14日、山田大使夫妻は、エドゥアルド・ボルソナーロ連邦下院議員夫妻を大使公邸に招き、日ブラジル関係等について意見交換した（十分な距離をとり、近接接触を避ける形で実施）。

山田大使からは、パンデミック下における日本政府及び日本大使館の取組について説明した上で、エドゥアルド・ボルソナーロ下院議員とともに、二国間関係を一層強化したい旨述べた。

エドゥアルド・ボルソナーロ下院議員からは、最近の議会情勢について説明があった上で、日本と政治・経済面で引き続き連携していきたい旨発言があった。また、同議員がファンであるサッカーチーム「ボタフォゴ」への本田圭佑選手の移籍を歓迎するとのコメントがあった。



（4）山田大使とリカルド・バーホス連邦下院議員との意見交換

9月23日、山田大使は、リカルド・バーホス連邦下院議員（パラナ州選出、新進党）を大使公

邸に招き、日伯関係や伯の構造改革等について意見交換した（十分な距離を取り、近接接触を避ける形で実施）。

山田大使からは、日伯関係の強化において、バーホス議員含む伯日議連のメンバーと引き続き協力したいと述べた上で、日本政府及び日本企業は、税制改革等、伯の構造改革に大きく期待していると述べた。

バーホス議員からは、二国間関係の深化のために自分にはできることはしたいと述べた上で、税制改革法案や行政改革法案を中心に、最近の議会の取組について説明があった。



（５）山田大使の ABRAEX 主催技術ウェビナー「伯経済社会開発に向けた日本の宇宙技術の貢献」への参加

9月28日、山田大使は ABRAEX（元国費留学生の会）が主催する技術ウェビナー「伯経済社会開発に向けた日本の宇宙技術の貢献」に参加した。

ウェビナーでは、高橋幸弘北海道大学教授から日本の小型衛星の技術とブラジルとの協力の可能性について講演があり、その後、ヘナート・ボルジェス・ブラジリア大学准教授からは宇宙産業とブラジリア大学の関わりに関する講演が行われた。

在ブラジル日本国大使館は今回のような科学技術に関するウェビナーへの支援を通じて日伯の科学技術協力や理解の促進に資する取り組みを引き続き進めて参りたい。

山田大使の冒頭挨拶は[こちら](#)。

4. 大使館からのお知らせ

（１）文化イベント

（ア）新型コロナウイルスに関する日伯の地方自治体の首長間の意見交換

日時：10月19日（木）20:30～21:30

場所：Frente Nacional de Prefeitos(全伯市長戦線)の Facebook

内容：Frente Nacional de Prefeitos と当館の協力により、日本から鈴木・浜松市長、村山・大泉町長と、ブラジル側はUberaba（ウベラバ）市の Paulo Piau 市長，Guarapuava（グアラプアバ）市の César Silvestri Filho 市長が参加して、オンラインで日・ブラジルの首長間による新型コロナウイルスに関する意見交換を実施。

（イ） ジャパン・ハウス サンパウロ 石川直樹「ヤポネシア」展、「トモ コイズミの幻想的な宇宙」展（在サンパウロ総）

日時：10月19日（火）19:00 オンラインにてライブ発信、事後も再生可能

場所：ジャパンハウスサンパウロ、YouTube チャンネル

内容：19日、ジャパン・ハウス サンパウロの施設再開を記念し、新規の企画展：石川直樹「ヤポネシア」展、「トモ コイズミの幻想的な宇宙」展の様子を会場から配信。

HP：<https://www.youtube.com/c/JAPANHOUSES%C3%A3oPaulo/featured>

（ウ） 第16回日伯友情交流絵画展（在サンパウロ総）

日時：11月3日（火）オンラインにて公開

場所：岐阜県人会オンライン

内容：国籍、民族、言語、年齢の壁を超え、違う価値観を持つ画家たちが切磋琢磨し自分の作品と向き合い「自由に表現した」個性あふれる作品を披露する絵画展。今年は、オンラインで開催。

HP：<https://gifukenjinkai.org.br/kaigaten/>

（エ） 高木総領事によるインスタ・ライブ「ラーメンと Dupont シェフの料理人としての軌跡」（在クリチバ総）

日時：10月19日（月）19時～

場所：高木総領事インスタグラム

内容：高木総領事が Dupont シェフを自身のインスタ・ライブに招待し、ラーメン文化と彼女の料理人としての日本・ブラジル双方での経験をテーマに対談。

インスタグラム：@cgc_mt

（オ） 高木総領事によるインスタ・インタビュー「日本とブラジルにおける高齢化」（在クリチバ総）

日時：10月28日（水）午前10時～

場所：Regina Celebrone 教授 インスタグラム

内容：高齢社会の専門家によるインスタ・インタビューに高木総領事が出演。

インスタグラム：@drareginacelia

（カ） Musica no Castelo

日時：8月15日～12月20日まで（毎月15日と20日の17時に発表）

場所：国際交流基金 YOUTUBE 上

https://www.youtube.com/channel/UCBVCV7jgQZacAP78Ng_DTVA

内容:日本の伝統楽器を用いた演奏や、日本の伝統音楽等の演奏をウェブ上で発信していく事業。

HP : <https://fjsp.org.br/agenda/musica-no-castelo/>

Facebook : <https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3896503760379211>

Instagram : https://www.instagram.com/p/CGVw0kJDI_K/

(キ) Destaques da Biblioteca

日時: 毎月1回発表

場所: 国際交流基金ウェブサイト上 (以下HP)

内容: 国際交流基金サンパウロ日本文化センターに収蔵されている図書資料等を紹介する事業。

HP : <https://fjsp.org.br/destaques-da-biblioteca/>

(ク) Biblioteca Literaria Online

日時: 隔月に1回程度発表

場所: 国際交流基金ウェブサイト上 (以下HP)

内容: 毎回1名の日本の作家にスポットをあて、様々な角度から紹介する事業。第2回は10月23日に発表。

HP : https://fjsp.org.br/dossie_literario/

Facebook :

https://pt-br.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3590902870939303?_tn_=-R

Instagram : <https://www.instagram.com/p/CCd6KEKjb5u/>

(ケ) Japão e Catástrofes: para refletir sobre o Japão frente às adversidades, em tempos de pandemia do coronavírus

日時: 不定期の発表

場所: 国際交流基金ウェブサイト上 (以下HP)

内容: コロナの時代において、ブラジル人の日本研究者がみた日本文化と危機的状況の関係を考察するエッセーシリーズ。

HP : <https://fjsp.org.br/estudos-japoneses/artigos/>

Facebook : <https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3766846966678225>

Instagram : <https://www.instagram.com/p/CEv0tTMjbK-/>

(コ) Tradução em foco

日時: 不定期の発表

場所: 国際交流基金ウェブサイト上 (以下HP)

内容: ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者の活動を紹介するエッセーシリーズ。

HP : <https://fjsp.org.br/traducaoemfoco/>

Facebook : <https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3879903088705945>

Instagram : <https://www.instagram.com/p/CGH6nwpjh2U/>

(サ) Japão em Casa: Cultura Japonesa para ver, fazer e se divertir. COZINHA DA AKIKO

日時：不定期の発表

場所：国際交流基金ウェブサイト上（以下HP）

内容：家で簡単にできる日本文化体験をビデオコンテンツの形で配信していく事業。第2回と第3回は11月以降に発表。

HP：

<https://fjsp.org.br/agenda/japao-em-casa/?fbclid=IwAR02uoayFYa56rb00mYH0bf-QwcKEaTQtv4j-Te0vFTtmYeSgMCmVTNgLls>

Facebook：<https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3734733903222865>

Instagram：<https://www.instagram.com/p/CEWkrROD9SV/>

ウェブサイト：

https://fjsp.org.br/minato_curso_japones_em_portugues/?fbclid=IwAR3ZNq8_5e6-ek-ofBH0jYpmav_YjvKIkJ55wI627_aKFe6LTCJNH13lrI

Instagram：<https://www.instagram.com/p/CGiYWBmDfd8/>

Facebook：<https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3895537490475838>

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

昨年8月2日付で内容を改訂するとともに、一部地域（ロライマ州北部・セアラ州大フォルタレーザ圏）を新規に追加したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・ロライマ州北部（新規）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏（新規）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

本年8月6日付で内容が改訂されている。

主要各州，都市毎の犯罪発生状況，防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え，査証，出入国審査や大使館，総領事館の緊急連絡先が掲載されているので，詳細をホームページで確認いただきたい。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pterror_259.html